

**東海第二発電所 原子炉建屋地下1階
溶接用ケーブル（接地線）からの火災の発生について
（関係自治体への安全協定等に基づく発生報告書の提出）**

5月30日、東海第二発電所^{※1}原子炉建屋地下1階において、安全性向上対策工事に伴い新設するケーブルトレイのサポート材を溶接中に溶接用ケーブル（接地線）からの発火を確認したことから、初期消火を実施し公設消防に通報しました。

その後、本事象について、公設消防が現場を確認した結果、12時55分に火災と判断されました。

なお、本事象による放射性物質の漏えいはなく、環境への影響はありません。また、人の汚染や被ばくはありませんでした。

※1：沸騰水型軽水炉、定格電気出力110万キロワット。第25回定期事業者検査中。

（2025年5月30日お知らせ済）

当社は本日、本事象について、安全協定等に基づく事故・故障等発生報告書を関係自治体に提出しました。現時点では、本事象が発生した直接の原因は、溶接用ケーブル（接地線）のうち、溶接機本体の接地線と延長用ケーブルを接続するコネクタ部の差し込み不足及びねじ込み不足により、接続不良の状態です。溶接作業を行ったことから、当該コネクタ内部が発熱し、火災に至ったものと推定しています。

具体的な原因対策及び再発防止策は、纏まり次第お知らせいたします。

以 上

◆参考資料

東海第二発電所 原子炉建屋地下1階 溶接用ケーブル（接地線）からの発火について